



平成30年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月31日

上場会社名 株式会社 三ツ星
 コード番号 5820 URL <http://www.kk-mitsuboshi.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 聡一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理部長 (氏名) 金城 安弘
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 06-6762-6939

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,968	7.7	358	△21.1	359	△12.7	461	54.9
29年3月期第3四半期	6,470	△10.4	454	148.1	411	176.5	297	183.9

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 558百万円 (59.9%) 29年3月期第3四半期 349百万円 (288.5%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
30年3月期第3四半期	403.82	—	—	—
29年3月期第3四半期	260.63	—	—	—

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円	百万円	円	%	円	銭	
30年3月期第3四半期	9,270	—	5,146	—	55.5	4,507.18	—	
29年3月期	9,139	—	4,662	—	51.0	4,083.51	—	

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 5,146百万円 29年3月期 4,662百万円

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。1株当たり純資産につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
29年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。平成30年3月期(予想)の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合の影響を考慮した金額を記載しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	9,350	6.7	510	0.8	490	1.3	330	△7.9	288.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成30年3月期の通期連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	1,266,655 株	29年3月期	1,266,655 株
② 期末自己株式数	30年3月期3Q	124,718 株	29年3月期	124,751 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	1,141,909 株	29年3月期3Q	1,142,416 株

当社は平成29年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合で株式併合を行っております。期末発行済株式数、期末自己株式及び期中平均株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定して算定しております。

※四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び通期連結業績予想について)

当社は、平成29年6月27日開催の第72期定時株主総会において、株式併合に係る議案が可決されたことにより、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しております。なお、当該株式併合を考慮しなかった場合の平成30年3月期の配当予想及び通期連結業績予想は以下のとおりです。

- 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 8円00銭
- 平成30年3月期の連結業績予想 1株当たり当期純利益 通期 57円80銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の各種経済政策の効果もあって、企業収益や雇用環境の改善が続き、緩やかな回復基調で推移いたしました。

一方、世界経済は、緩やかに回復しつつあるものの、米国における政策運営の懸念や英国のEU離脱問題、アジア諸国の経済や地政学的リスクにより先行きは依然不透明な状況が続いております。

当社グループに関連する経営環境につきましては、設備投資は、円安基調や企業収益の改善を受け緩やかに増加してきております。また、公共投資も底堅く推移しておりますが、住宅建設につきましてはこのところ弱含んできております。

このような状況の中、当社グループの売上高は、新規得意先の開拓強化や主原材料である銅価格が前年同期比30.8%上昇したことなどにより前年同期を上回りました。

営業利益につきましては、主力部門である電線事業での高付加価値製品の販売量減少や販売費及び一般管理費のうち運賃運送費等の増加が影響し前年同期を下回りました。

経常利益につきましては、前年同期に比べて為替差損が大幅に減少しましたが、原材料価格の上昇分を吸収できず前年同期を下回りました。

親会社株主に帰属する四半期利益につきましては、東京支店移転に伴う土地等の固定資産売却益や税効果による法人税等調整額の計上により前年同期を大幅に上回りました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は6,968百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は358百万円（前年同期比21.1%減）、経常利益359百万円（前年同期比12.7%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は461百万円（前年同期比54.9%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

[電線]

当事業の主要な市場である建設・電販向けの売上は、公共事業・設備投資が緩やかな回復基調であるにも拘わらず、ゴム電線は前年比減少基調、プラスチック電線は僅かではありますが増加基調で推移していることと、銅価格が前年よりも上昇している影響をうけて売上高は4,585百万円（前年同期比7.7%増）と増加しました。

利益面につきましては、生産性の改善やコスト削減に取り組みましたが、プラスチック電線の原材料の値上げの影響を受けてセグメント利益は202百万円（前年同期比35.7%減）となりました。

[ポリマテック]

当事業に関連のある新設住宅着工件数が微減で推移しているなか、既存顧客への拡販及び新規顧客獲得に注力した結果、全体の売上高は1,840百万円（前年同期比4.2%増）となりました。

利益面につきましては、生産性の改善や材料ロスの低減、コスト削減に取り組んだ結果、セグメント利益は96百万円（前年同期比5.5%増）となりました。

[電熱線]

当事業の主要な市場である白物家電向けヒーター用途において前年同期比微増となった他、白物家電用途以外の開拓として取り組んできた、産業機器向け及び食品機械向けヒーター用途、抵抗器用途での需要増や新規鋼種の拡販での受注獲得により売上高は541百万円（前年同期比21.9%増）となりました。

利益面につきましては、比較的付加価値の高いニッケル系鋼種及び帯製品が産業機器向け用途を中心に売上増となったことや生産性の改善に取り組んだ結果、セグメント利益は58百万円（前年同期比23.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,174百万円となり、前連結会計年度末と比べ247百万円増加しました。これは主に現金及び預金が342百万円減少しましたが、受取手形及び売掛金が361百万円、電子記録債権が124百万円、たな卸資産が126百万円増加したこと等によるものであります。固定資産は3,095百万円となり、前連結会計年度末に比べ116百万円減少しました。これは主に投資有価証券が141百万円、投資その他の資産のその他に含まれる繰延税金資産が34百万円増加しましたが、有形固定資産が290百万円減少したことによるものであります。

この結果、総資産は9,270百万円となり、前連結会計年度末に比べ131百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は3,084百万円となり、前連結会計年度末に比べ215百万円増加しました。これは主に電子記録債務が306百万円、支払手形及び買掛金が86百万円増加しましたが、流動負債のその他に含まれる1年返済予定の長期借入金が149百万円、未払法人税等が29百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は1,039百万円となり、前連結会計年度末に比べ568百万円減少しました。これは主に長期借入金317百万円、長期未払金が226百万円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、4,123百万円となり前連結会計年度末に比べ352百万円減少しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は5,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ483百万円増加しました。これは主に利益剰余金が386百万円、その他有価証券評価差額金が96百万円増加したことによるものであります。

自己資本比率は55.5%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日公表の決算短信に記載しております連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,362,005	1,019,710
受取手形及び売掛金	2,910,452	3,272,399
電子記録債権	292,080	416,690
商品及び製品	839,131	837,265
仕掛品	192,692	220,445
原材料及び貯蔵品	184,372	284,745
その他	146,934	123,558
流動資産合計	5,927,670	6,174,816
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,873,396	1,678,761
その他(純額)	698,746	603,339
有形固定資産合計	2,572,143	2,282,100
無形固定資産		
	52,178	44,678
投資その他の資産		
投資有価証券	541,059	682,698
その他	49,818	87,827
貸倒引当金	△3,575	△1,775
投資その他の資産合計	587,303	768,751
固定資産合計	3,211,624	3,095,530
資産合計	9,139,294	9,270,346
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	974,847	1,061,565
電子記録債務	584,749	891,339
短期借入金	290,000	370,000
未払費用	32,752	25,681
未払法人税等	37,098	7,106
賞与引当金	79,933	37,185
その他	869,904	691,540
流動負債合計	2,869,286	3,084,418
固定負債		
長期借入金	1,007,482	690,301
長期未払金	232,168	5,739
退職給付に係る負債	295,558	281,644
その他	71,825	61,326
固定負債合計	1,607,034	1,039,011
負債合計	4,476,320	4,123,429

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,136,518	1,136,518
資本剰余金	1,133,596	1,133,596
利益剰余金	2,300,066	2,687,033
自己株式	△150,505	△150,502
株主資本合計	4,419,674	4,806,646
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	198,068	294,925
為替換算調整勘定	23,834	20,148
退職給付に係る調整累計額	21,396	25,196
その他の包括利益累計額合計	243,299	340,270
純資産合計	4,662,974	5,146,916
負債純資産合計	9,139,294	9,270,346

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	6,470,092	6,968,126
売上原価	4,966,084	5,502,529
売上総利益	1,504,008	1,465,596
販売費及び一般管理費	1,049,935	1,107,528
営業利益	454,073	358,068
営業外収益		
受取利息	972	50
受取配当金	11,278	11,863
受取家賃	6,735	6,735
仕入割引	4,808	4,849
その他	6,102	10,124
営業外収益合計	29,899	33,623
営業外費用		
支払利息	13,140	8,157
売上割引	14,310	14,386
為替差損	42,184	3,513
その他	2,854	6,612
営業外費用合計	72,489	32,670
経常利益	411,482	359,021
特別利益		
固定資産売却益	483	40,102
子会社清算益	11,115	—
投資有価証券売却益	—	19,422
役員退職慰労金債務免除益	—	9,362
特別利益合計	11,599	68,887
特別損失		
固定資産売却損	—	4,672
固定資産除却損	1,720	898
投資有価証券売却損	3,838	—
事務所移転費用	—	124
特別損失合計	5,559	5,695
税金等調整前四半期純利益	417,523	422,213
法人税、住民税及び事業税	29,395	24,562
法人税等調整額	90,382	△63,479
法人税等合計	119,778	△38,917
四半期純利益	297,744	461,130
親会社株主に帰属する四半期純利益	297,744	461,130

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	297,744	461,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53,592	96,856
為替換算調整勘定	△6,994	△3,685
退職給付に係る調整額	4,680	3,800
その他の包括利益合計	51,278	96,971
四半期包括利益	349,023	558,102
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	349,023	558,102

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,259,204	1,766,245	444,642	6,470,092
セグメント間の内部 売上高又は振替高	926	—	—	926
計	4,260,131	1,766,245	444,642	6,471,019
セグメント利益	314,726	91,727	47,619	454,073

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	電線	ポリマテック	電熱線	
売上高				
外部顧客への売上高	4,585,958	1,840,301	541,866	6,968,126
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,046	—	28	6,074
計	4,592,005	1,840,301	541,894	6,974,201
セグメント利益	202,442	96,775	58,850	358,068

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。